

自発機能支援システム

自然に活動的となる住まいを実現する活動誘発システムの構築

- 藤田医科大学 教授 大高洋平
- 大和ハウス工業(株) 副所長 広沢健二
- (株)NTTドコモ 課長 堀口賞一
- (株)スピード 代表取締役 岩木勇一郎
- NTT物性科学基礎研究所 NTTフェロー 塚田信吾
- (株) Mirror Life グループマネージャー 平松信洋

概要

自然に活動的となる住まいを実現するための、活動誘発システムの構築を行った。自発性を誘導する室内空間を提供すべく、高齢者の活動を促すデジタルコンテンツの検討と、住環境に適した壁面への視聴覚情報提示システムを検討した。具体的には、居住者が一定時間低活動状態であるとキャラクタが運動を促すアニメーションが再生される仕組みや、居住者の一日の活動状況などをフィードバックする仕組みなどを構築した。本プロジェクトでは、高齢者にもシステムの要素を体験頂き、改善に向けた意見を聴取した。また、住環境へのシステム導入に向けて、居住者が認識しやすい画面位置や文字の大きさなどを検討した。

特長

- キャラクタによる運動の促し、毎日の予定や天気の表示、就寝/起床時のコンテンツの表示など、活動を促す仕組みを構築した。
- リビングには大型モニタを、寝室にはベッドサイドモニタと大型モニタを設置し、視認性や生活動線を考慮した、効果的な視聴覚情報提示システム構築の検討を行った。
- 各種IoTセンサの情報から屋内の各種活動情報を収集することで、居住者の終日の日常生活活動を推定し、その情報に基づく自発機能支援を行うシステムの検討を進めた。



視聴覚情報提示システム



フィードバック画面

■ お問い合わせ先 藤田医科大学医学部リハビリテーション医学I講座 大高洋平
 e-mail: cent-rsh@fujita-hu.ac.jp 電話番号: 0562-93-9720 FAX: 0562-95-2906